

第19回

日本太鼓全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～



2017年10月1日(日) 開場11:30 開演12:00 終演予定17:00

御殿場市民会館 〒412-0042 静岡県御殿場市萩原 183-1 Tel. 0550-83-8000

主催：  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催：社会福祉法人 富岳会

主管：日本太鼓財団静岡県支部

後援：厚生労働省、文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会、
社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会

協賛： Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団

会長 松本 英昭



公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部を設立し、加盟団体数700チーム、会員総数2万人を数えております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、健常者のみならず障害者の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、約40年前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として今年で19回目を数えることとなりました。

一方、海外においても太鼓の演奏が「日本の心」を伝えるものとして高く評価され、財団設立以来47カ国で公演を行ってまいりました。なかでも、2001年5月にロンドン・ハイドパークで開催されました「Japan2001」においては、本日も出演する「富岳太鼓 竜神組」が演奏し、20万人もの観客に大きな感動を与えました。本年6月にはタイ・バンコク市において開催されました「Disability-Inclusive Drum Performance in ASEAN and Japan」にも出演いたしました。また、「甲州ろうあ太鼓」も2003年6月に、米国ロチェスター工科大学並びにギャローデット大学における「聴覚障害者教育と指導技術に関するシンポジウム」に出演したほか、2013年、2014年と、ミャンマーにおける「障害者問題に対する意識改革並びに啓蒙活動事業」のため障害者芸術祭に参加いたしました。

このように日本太鼓が脚光を浴びるなか、日本財団助成により第19回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことであります。出場されるチームの皆様には日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国各地の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

終わりに、本大会の開催にご協力いただきました、社会福祉法人富岳会並びに日本太鼓財団静岡支部をはじめ関係各位に心から感謝いたしますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶いたします。

ご 祝 辞

静岡県知事

川 勝 平 太



第19回 日本太鼓全国障害者大会が、5年ぶりに本県で盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました皆様を心から歓迎いたします。また、本大会の開催に御尽力いただきました公益財団法人日本太鼓財団、同静岡支部並びに社会福祉法人富岳会の皆様に、心から敬意を表します。

和太鼓と言え、我が国の誇るべき伝統芸能であり、その勇壮で迫力ある響きは、まさに「心に響け」のタイトルそのものであります。チーム一丸となって、障害のある方々が全身全霊でリズムを刻む太鼓の演奏は、本当に素晴らしいものであります。

また、本年は、富岳会が和太鼓による療育活動を始めて40年となる記念すべき年です。この記念の年に全国各地から多くの仲間が集い、発祥の地であるここ御殿場市で全国大会が開催されますことは大変意義深く、誠に時宜にかなったものであります。

本県におきましても、障害のある方々の自立と社会参加を推進するため、スポーツや文化・芸術活動を振興しており、本年4月には「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を施行し、障害のある方もない方も互いに尊重し合う共生社会の実現に努めております。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本各地で文化プログラムが実施されますが、本大会はこれらの文化プログラムの一つとして、国内外の方々に多くの感動を与えることでしょう。

本大会に御参加の皆様は、日頃の練習の成果を十分発揮され、是非、全国の仲間との交流を深めてください。観客の皆様におかれましても、世界に通じる素晴らしい演奏の迫力を肌で感じていただき、本大会が心に残るものとなりますよう願っております。

さて、本県は世界遺産の「富士山」や「韮山反射炉」をはじめ、ユネスコエコパークの南アルプスなど、世界有数の観光資源を有しております。県外からお越しの皆様には、是非、この機会に本県ならではの歴史・文化、産業に触れていただき、“ふじのくに”静岡の多彩な魅力を体感してください。

結びに、本大会の御成功と関係の皆様の方々の御健勝と御活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞

御殿場市長

若 林 洋 平



第19回日本太鼓全国障害者大会が、世界文化遺産「富士山」と箱根外輪山に囲まれた、緑豊かな高原都市である我が御殿場市におきまして、平成24年の第14回大会以来5年ぶりに盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、御殿場市民を代表し全国からお集まりいただきました皆様を心から歓迎いたします。

本市におきましては、夏の観光イベントとして「富士山太鼓祭り」を毎年開催しており、本年も7月に開催しましたところ、世界最大級の大太鼓「富士山」の一人打ちコンテストや全国高校生太鼓甲子園に北は福島県から南は熊本県まで全国各地から数多くの太鼓愛好者・団体の皆様にご参加をいただき、盛大かつ盛況に開催をいたしましたところであります。

また、本大会にも多大なご尽力とご協力をいただいております社会福祉法人富岳会様の「富岳太鼓コンサート」をはじめ、市内の中学校太鼓クラブや市民団体による演奏活動など、日頃から太鼓による演奏が身近な存在として市民にも十分に認識をされており、本市は太鼓が大変盛んな「まち」であります。

本大会開催の契機となりました和太鼓による療育プログラムは、海外からも多くの注目を集めており、リハビリテーションやトレーニングの一環として取入れられているほか、ハンディキャップをかかえた皆様が日頃の練習の成果により勇壮に太鼓を叩く姿は、見る者の心に響く素晴らしい演奏であると確信をいたしております。そして観客の皆様から心温まる拍手や声援をいただくことは大きな喜びであり、今後の演奏活動の更なる励みになるものと考えております。その様な観点からも、太鼓による療育プログラムを実践されている全国の多くの団体の皆さんが一同に会する本大会の開催意義は非常に大きく、今後の更なる発展を心から願っております。

結びに、本大会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました公益財団法人日本太鼓財団様や社会福祉法人富岳会様をはじめとした関係者の皆様に心より感謝と敬意を申し上げますとともに、本大会の成功と本日参加いただいております全ての皆様の今後益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

社会福祉法人 富岳会

理事長 山内 剛



本日、富岳会の地元、静岡県御殿場市におきまして、第19回日本太鼓全国障害者大会が開催できますこと心より御礼申し上げます。また主催であります公益財団法人日本太鼓財団並びに協賛をいただきます公益財団法人日本財団、そしてご後援をいただきました多くの団体のみなさまのご協力に深く感謝申し上げます。

今年19回目を迎えます日本太鼓全国障害者大会。第1回は同じ静岡県の静岡市にありますコンベンション・アートセンター・グランシップでの開催でありました。しかしその前年にプレ大会をこの御殿場市民会館で開催していることはあまり知る人はおりません。当時はバックアップしていただける団体もなく、富岳会の職員が御殿場市内の企業や商店をまわり協賛金を募り、集まった僅かな資金と、私たちの趣旨にご賛同いただける10にも満たない太鼓チームの参加での開催でした。その大会を視察に来られた日本太鼓財団現理事長の塩見和子氏の「この素晴らしい大会を絶やしてはいけない」との一声によって、日本太鼓財団の事業として正式に取り上げられ現在に至っているのです。生みの親が富岳会ならば育ての親は日本太鼓財団と言えるのがこの大会です。そしてこの大会をきっかけに障害がある人たちの太鼓活動が広がり、多くの団体に日本太鼓障害者大会の舞台に立つという目標を与える大会となりました。そして第19回を迎えた本年は、北は東北福島県、南は四国愛媛から27団体が参加して日ごろの稽古の成果を披露して下さいます。

こうして日本の太鼓の持つミュージックセラピーとスポーツセラピーの両面を兼ねそろえた独特の特性は様々な障害のある方々に受け入れられ、リハビリ、療育は勿論のこと障害者の社会参加、文化・芸術活動にまで広がりを見せています。今年の6月には日本財団より派遣要請を受け、富岳太鼓が「Disability-Inclusive Drum Performance in ASEAN and Japan」のゲストとして招かれ、タイの首都バンコックにて2日間に渡り公演を行いました。公演後は多くの方々に賞賛と共感のお言葉を戴き、日本太鼓の普及、文化交流の一翼を担うことが出来ました。

本大会の主管であります日本太鼓財団静岡県支部と共催の社会福祉法人富岳会は日本太鼓全国障害者大会の発祥の地としての誇りと責任を胸に、今後も日本太鼓文化の発展のため積極的に活動を展開してゆく所存であります。

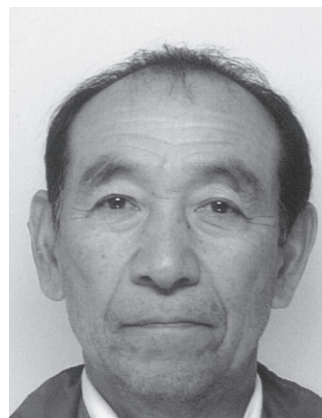
ただ今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。きっと観る人、聴く人に人間の計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれることでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。本日はご来場いただきまして誠にありがとうございます。



ご挨拶

日本太鼓財団 静岡県支部

支部長 中原 康夫



第19回日本太鼓全国障害者大会 ～心に響け「ドンドン」フェスティバル～ 大会開催がそのふるさととも言える静岡県はココ御殿場、富士山をあおぎ見る聖地で行われる事に感謝し、又お祝い申し上げます。

全国各地からお集まりいただきました太鼓チームのみなさま、ようこそお越し下さりました、全国障害者大会は第1回スタートが富岳会のご尽力により御殿場でこの大会の核を作っていただき、何と19回を重ねられた訳ですが回数を重ねて行くことで内容、運営、共に充実して来ていると確信しております。

世界平和のため！と叫びながら現在の日本太鼓の原型を小口大八氏が創って下さり、日本太鼓の世界は大きく本当に世界に広がっております。老若男女、健常者障害者問わずどんな人にも日本太鼓は平等です、そんな太鼓に関わっている我々はもっともこの文化を広げていく使命があるのではないかと考えております。

本日この大会にお集まりの皆様の素晴らしい感動の演奏と、大いなる交流と、さらなるご精進を祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。

第19回日本太鼓全国障害者大会プログラム

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

■ 開会式

■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)
Fugaku Taiko "Ryujin-kumi" from Shizuoka
2. 南陽園太鼓倶楽部 ふれあい和太鼓 (石川県)
Nanyoen Taiko Club "Fureai Wadaiko" from Ishikawa
3. 社会福祉法人 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓 (山口県)
Asokanosono "Doho Taiko" from Yamaguchi
4. 伊豆医療福祉センター どんつく (静岡県)
Izu Medical Welfare Center "Dontsuku" from Shizuoka
5. やまびこ太鼓 (福島県)
Yamabiko Taiko From Fukushima
6. 清光会 和太鼓 韻 (大阪府)
Seikokai Wadaiko "Hibiki" from Osaka
7. 甲州ろうあ太鼓 (山梨県)
Koshu Roa Taiko from Yamanashi
8. ファミリーユニット童鼓 (岐阜県)
Family Unit "Dokko" from Gifu
9. 徳島県立国府支援学校 和太鼓部 (徳島県)
Kokufu Handicapped Children's School Taiko Club from Tokushima
10. 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓OB会 (石川県)
Meiwa Handicapped Children's School Graduates "Ryuken Taiko" from Ishikawa
11. 播州ろう 龍姫太鼓集団 鼓鼓呂 (兵庫県)
Banshu Ryuhime Deaf Taiko Group "Kokoro" from Hyogo
12. 恵那のまつり太鼓 (岐阜県)
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu
13. 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会 (新潟県)
Niigata Roa Bandai Taiko "Horyu-kai" from Niigata
14. やわら太鼓 (静岡県)
Yawara Taiko from Shizuoka

-
- | | | |
|-----|--|-------|
| 15. | すまいる和太鼓クラブ
Smile Taiko Club from Osaka | (大阪府) |
| 16. | 静岡ハンディキャップ太鼓の会
Shizuoka Handicapped Taiko Club from Shizuoka | (静岡県) |
| 17. | 鼓友 夢光組
Koyu "Nozomi-kumi" from Toyama | (富山県) |
| 18. | 諏訪どんどん太鼓
Suwa "Dondon Taiko" from Nagano | (長野県) |
| 19. | 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka | (静岡県) |
| 20. | 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」
Shikokuchuo Iwakura Deaf Taiko Club "Koryu-kai" from Ehime | (愛媛県) |
| 21. | にこにこ青年講座 風のひびき
Kaze-no-hibiki from Shizuoka | (静岡県) |
| 22. | なごみ太鼓喜楽
Nagomi Taiko "Kiraku" from Shizuoka | (静岡県) |
| 23. | 公益社団法人 東京都聴覚障害者連盟 事業部
大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
Tokyo Deaf Taiko Club "Koyu-kai" from Tokyo | (東京都) |
| 24. | 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」
Toyonaka Deaf Taiko Club "Kobiki" from Osaka | (大阪府) |
| 25. | 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka | (静岡県) |
| 26. | 和太鼓 花の木組
Wadaiko Hana-no-Ki-kumi from Nagano | (長野県) |
| 27. | 静岡県立静岡北特別支援学校 北龍太鼓
Shizuoka North Handicapped Children's School "Hokuryu Taiko" from Shizuoka | (静岡県) |
-

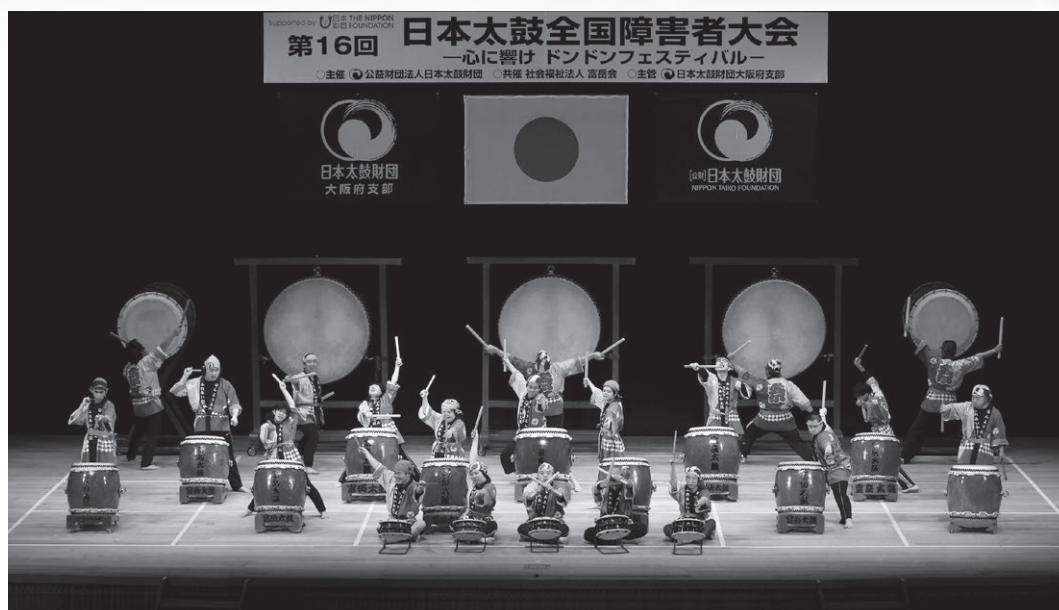


富岳太鼓は、日本一の霊峰富士の麓、静岡県御殿場市に所在します。設立のきっかけは1977年、社会福祉法人富岳会会長山内令子が、法人の施設を利用する知的障がい者のセラピーとして、和太鼓に着目したことから始まりました。富岳太鼓は魂を揺さぶる「響き」、鼓動と同調する「リズム」、感情を全身で表現する「躍動」、共に打ち込む「喜び」など、打てば響く太鼓の持つ秘めたる可能性を、独自に開発した和太鼓療育プログラムに効果的に取り入れ、知的障がい者のセラピーとして実践しています。そしてその効果は心身他面に表れ、今では障がい者のリハビリテーションや社会自立のトレーニングとしては勿論のこと、障がい者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目を集めています。

富岳太鼓の富岳とは富士山の別名であり、その名の通り、演奏する曲の総てが富士山にまつわる神話、民話、自然をテーマとしたものであり、富岳太鼓代表山内強嗣の手によるオリジナルの創作太鼓です。

代表者 山内 剛

大竹	肇	石原	純	久保田真喜	宮野	由仮	三橋	磨美	芹澤	加奈
芹澤	里奈	高森	春香	竜田奈津美	樋口	琢士	小林	依愛	小松	清泉
本田	正純	勝俣	宏祐	早野	均	野田	幸宏	大嶋	翔太	山内 和紀



社会福祉法人南陽園は障がい者（児）トータルサポートセンターです。石川県の最南端加賀市に位置し近くは柴山湯、遠くは白山連峰が望める風光明媚な片山津温泉八汐ヶ丘に拠点を置き、活動しています。

ふれあい和太鼓は2000年9月に「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに発足致しました。メンバーは日中、クリーニングやレストラン、パンを作る仕事をしています。自宅から通っている人、グループホームで生活している人など様々ですが、太鼓の前ではみんな目標は一つです。

ふれあい和太鼓の目標は、太鼓を通じて、礼節・修練・奉仕の精神を学び、人として自分自身を向上させるため、日々の稽古に励んでいます。

今日も一生懸命がんばります。

見てください。

聞いてください。

代表者 表 是男

野口	俊英	上口	勇人	塚谷	寛子	東	亮太	池澄	圭司	村元	英樹
水口	勉	林	幸司	竹内	陽祐	魚	琳太郎	山田	智輝	山口	寛登
橘	千里	吉村	智志	大谷	和	池越健太郎	本間	宏幸			



ライブラリーあそかの園は、平成9年6月1日開設で特別養護老人ホームみのり園と同一敷地にあります。みのり園には毎日夕方お掃除に行き、お話をしています。行事も一緒に行い、行事での太鼓演奏を楽しみにされる方々もたくさんいらっしゃいます。その気持ちに応えたくて、利用者の皆さんも日々練習に励んでいます。

利用者さんの療育支援の音楽療法の一環として、平成16年4月、法人として施設保護者会・後援会協賛の下、ピアノコンサート（月2回）に加え、和太鼓演奏導入の企画をしました。こうして、『同朋太鼓』が音楽療法のメインとなって、誕生し今日に至っています。

この度は静岡県における日本太鼓全国障害者大会に11度目の出演です。太鼓演奏をすることでたくさんの人との出逢いに感謝し、この度も心を込めて元気いっぱい演奏します。

代表者 河内 美舟

吉富	一夫	井上	善彦	加藤	正明	内山	一義	山本佳葉子	藤井よしの
安尾	好史	片岡	悟	金子	貴成	島田	貴晃	森本 圭一	佐藤 仁美
河村	初江	栗光恵美子	先本	理絵	有福	豊			



どんつくは、世界遺産の一つにあげられる韮山反射炉のある伊豆の国市を拠点に活動しています。

二十余年前、当時、肢体不自由施設だった旧伊豆療護園の入所児の「たいこやりたい」の声で、余暇時間の活動として始まりました。入所している児、卒業したOB、太鼓に興味を持った外来の児者で活動を広げ、今日に至っています。

近年は、重症心身障害児者の施設 伊豆医療福祉センターとして種別変更された関係で外部のメンバー中心で地元の演奏活動を行っていますが、入所者の中には、何年もの時を経て、演奏を習得した者もいます。

今日は、県内で行われる全国大会に合わせ、いつもより多くの入所者が参加しています。自分で曲を叩ききることは難しくても、知っているところは全力で叩く、音が小さくなった時にこっそりと叩く、バチを持ちたくないため手で叩く、叩いている事を感じ、表情が豊かになる等参加の方法はそれぞれです。これからも積み重ねを大切に頑張ります。

代表者 佐藤 倫子

前田 健伺	小林 悠太	村田 淳樹	松島 優翔	藤間 裕生	伊藤 圭介
岩科 晴子	宮崎 徹	萩田 恭平	穴倉 慧美	鈴木 千裕	山本 俊行
高橋 啓介	上島きいな	荒木真里菜	金田 貴則	関野 竜也	林 拓哉



「やまびこ太鼓」は、福島県郡山市の親子チームで、「太鼓を楽しむ」を合言葉に毎週土曜日に練習をして、今年で19年目になりました。

結成以来、うねめ太鼓保存会と片平公民館の方々に支えて頂きながら、続ける事が出来ています。

新しい仲間も増え、平均年齢もチョッピリ下がりました。(笑)

今年は、新しい曲にもチャレンジ！

曲の動きや構成も皆で考え、今日の大会に向けて頑張ってきましたが、上手に演奏出来るか、ドキドキ・ワクワクです。

今日も「やまびこ」らしく明るく、元気に楽しいパフォーマンスをしたいと思いますので宜しくお願い致します。

代表者 三瓶 律子

三瓶沙弥香	吉田 輝	吉田 久恵	佐藤日出海	佐藤 京子	室井亜理沙
室井春美恵	遠藤 正樹	遠藤トミ子	阿久津陽介	阿久津恵子	佐藤 亮太
佐藤 真弓	河治 勇志	河治美代子	根本 樹	根本 裕子	三田 昌之
三田 幸恵	石田 洋人	石田奈緒子	武田 悠真	武田 淳子	川又 誠司
川又 豊子	後藤 拓人	後藤 真弓	深江 恵子		



清光会和太鼓韻は、平成11年に結成されるまで、1台の和太鼓と数本の竹太鼓で余暇活動の一環として取り組んでいました。取り組むきっかけになったのは、代表が支援学校の教師をしていた頃に盲聾の方と出会った事でした。その方は音楽の評価が「1」これに疑問を持った代表は、たとえ目や耳、何かしらの障害があっても肌に感じる、身体の芯に音を感じる事ができればと考えたことが始まりでした。その後、和太鼓と出会い、現在は地元に限らず、全国各種イベントにて和太鼓演奏を披露し「和太鼓の一打一打にまごころ込めて生きる喜び伝えたい」をテーマに活動しています。

代表者 柴沼 廣

南 昌和 笹尾 雅一 中野 匡 三輪 忠正 本田 秀樹 山田 大樹
横山 智幸 阪上 翔 東 正人 倉澤 威 今村 友哉 松田 好美
南河 真依



音の無い世界にいる私達が“音の世界と関わりたい、音楽を楽しみたい”その思いで昭和56年1月に結成し、今年で36年になりました。

“聴こえないからできない”ではなく、“聴こえなくてもやればできる！”と聴覚障害者を中心に活動を展開してきました。

現在、私達の可能性、技術の限界を極めようとチームの体制を変え、メンバー同士で切磋琢磨し合いながら練習に取り組んでいます。幾多の困難を乗り越え、多くの方々への感謝を胸に日本の伝統芸能の一翼を担うという、ほんの僅かな自負心を持ちながらこれからも更なる飛躍を目指して頑張りたいと思っています。

代表者 井上 直光

桜木 力 長田 和久 山口 龍太 山口 優子 山口 心陽 山口 新太



私達「ファミリーユニット童鼓」は障がいを持つ子どもたちと、その親により和太鼓の演奏をしているグループです。子ども達に太鼓の楽しさを教え、人前で堂々と発表できる子どもに育てる趣旨で結成されました。

障がいを持つ子ども達とその家族が、力あわせてひとつになり、そしてそれぞれの家族が、重要な役割をもち、すなわち「ファミリーユニット」となってこの演奏活動を行っています。

太鼓の練習を継続することにより子どもたちは、太鼓の技だけではなく、がんばれる力、集中力、そして人を思いやる心も育ちます。

また、たくさんの発表の場を経験する事により、もっと上手になりたいという向上心、やり遂げた達成感、それらすべてが、子どもたちの自信につながっています。

子どもたちも成人した今後も、変わらず元気に活動していきたいと思っています。

代表者 児島 和夫

奥村 千鶴	奥村 杏里	河田 浩貴	河田 厚子	児島 康寛	児島 秀美
高橋 貴子	高橋 秀徳	中島 寛文	中島 幸子	渡辺 史浩	渡辺 朋子
川口 舞	川口 清美				



徳島県立国府支援学校は、徳島市西部の閑静な穀倉地帯にある知的に障害のある児童・生徒のための特別支援学校です。部活動として認められるようになり、9年目を迎えて、日々練習の中で甘えることなく、聞く人に喜んでもらえる演奏を目指して日々努力を続けています。

演奏曲「阿波流光のぞめき」は、兵庫県にある和太鼓教育研究所の吉田拓也氏に作曲を依頼し、打ち込み続けているオリジナル曲です。吉野川の激しく厳しい流れ。船を転覆させるほどの渦潮の流れ。先祖たちの文化に対する誇り。そして阿波徳島に受け継がれる阿波踊りの流れ。これらの自然・文化・人の流れを組み太鼓の中に織り混ぜ表現をしています。

代表者 板東 宏治

齊藤 寛高 高力 聖輝 前川 裕次 正木新太郎 中山 大輔 山本 亜美
徳永 勇雅 切原未寿希 澤田 耀世 湯原ほのか 安富 健吾 高木 昭英
増田 和也



私達「龍剣太鼓」は、太鼓が大好きで卒業しても太鼓を続けたいと石川県立明和特別支援学校和太鼓部のOB会として平成24年に発足しました。本大会過去7度のステージは和太鼓部、OB会の合同チームでの参加でしたが、今回初めてOB会だけの参加になります。

OB会だけの参加は不安もありましたが全国の仲間の素晴らしい演奏を聞きたい、参加したいと安江信寿先生の熱いご指導を受け、この日の為に一生懸命練習をしてきました。

今日は来れなかったメンバーもありますが、皆で気持ちを1つにして元気よく叩きたいと思います。

代表者 伊藤 明子

林 芳樹 若林 美香 伊藤 祐介 米田 優一 小林 源大 安江 信寿



平成5年12月に、日本で初の世界文化遺産となった姫路城のふもとを中心に活動をしています。

市鳥であるシラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれている姫路城は、我が街の誇りです。

1997年（平成9年）に「龍姫太鼓」として結成。

2003年（平成15年）、「鼓鼓呂」と改名。

「鼓鼓呂（こころ）」…太鼓と太鼓、そしてお互いの口の動きを見ながら、体の動きと心を通じ合わせるという意味を込めたものです。

聴覚のハンディを克服する為、バチの早さを目で確かめたり、太鼓の振動を体で感じたりしながら、時間をかけてメンバー全員で音を一つにまとめています。

「明るく、元気よく、笑いと感動を！」をモットーに、メンバー全員一丸となって頑張ります。

代表者 金澤 利至

金澤 静 松田 有紀 松田龍太郎 常見 萌乃



恵那のまつり太鼓は、平成元年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓さんに太鼓を学び、二尺一寸の太鼓と孟宗竹からスタートしました。障がい者支援事業所の利用者・スタッフで構成され、現在レギュラーメンバーは、利用者さん15名と職員4名です。主に、施設の行事や地域のお祭りや県内外のイベント、障がい者大会などに参加しています。その他、太鼓クラブとして重度の障がいの方を含め太鼓好きの12名が昼休みなどを利用して練習を行っています。

リズムや打ち方を打ちやすくアレンジしますが、身に着くには時間がかかり、作業後の時間を使って繰り返し繰り返し練習をしています。大変な事もありますが、その分、やりがいや達成感があります。楽しむ気持ちと一生懸命打つ気持ちで演奏しています。

代表者 小坂 孫次

八澤	正弘	酒井	薫	外山	和紀	西尾美乃里	安藤	恵一	安藤	利夫
井口	恵一	伊藤	鉄也	伊佐地	工	伊藤	佳央	後藤	健治	大黒
嶋田	陽子	田中	里美	長尾	和子	武川	勝則	春田	信也	古田
吉村	健									



私たち、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会では、音楽好きな仲間と共に文化活動を推進するための活動をしています。昭和56年6月創設以来毎週欠かす事なく練習を重ねてまいりました。メンバーは勿論、全員ろう者です。

これまでに毎年、新潟まつりや福祉行事などに積極的に出演してきました。

平成7年2月にはアメリカ、ガルベストン市、平成10年7月にもロシア、ウラジオストク市に渡り、演奏と友好を深め、国際交流の大任を果たすことができました。平成21年10月に新潟市のビックスワンスタジアムで開催された、第9回全国障害者スポーツ大会「ときめき新潟大会」の開会式では皇太子殿下をお迎えして、歓迎太鼓を披露しました。平成24年7月には結成30周年記念集会を得、現在、毎月2回の練習の他、新潟まつりのパレード、老人介護施設慰問、小中学校の演奏交流、福祉団体の各種行事などで演奏を披露しています。平成26年5月に東日本大震災の震災地、宮城県南三陸町へ訪問し演奏を披露しました。又、平成27年の3月にも宮城県塩竈市で開催された第50回耳の日記念手話まつりにアトラクションとして出演させて頂きました。今後も意気の合った演奏を披露し続けたいと思います。

代表者 家坂 光雄

佐藤 健一 木戸 和史 山岸 弘和 吉村 銀平 渡辺 伸也 渋谷 端江
 山岸絵里加 佐藤 浩美



こんにちは やわら太鼓です。

わたしたちは、障がいを持つ子、親、兄弟、姉妹で構成されているグループです。

静岡県伊豆の国市で、毎月、第二・第四土曜日に練習していて、市内のイベントで演奏活動を行っています。

今日は、日頃の練習成果を発揮できるよう、思いっきり頑張ります。

聞いてください。曲は、夏の嵐をイメージして作られた「青嵐(せいらん)」です。

代表者 石井 章子

岡本 文子 石井 鉄兵 濱村 岳翔 濱村 瑠梨 佐賀 翼 谷口 蓮
玉置 真也 大倉 瑠斗 菅尾 勇治 小池健太郎 安彦 慶哉 渡邊 宏太



NPO法人視聴覚二重障害者福祉センター「すまいる」は、盲ろう者（視聴覚二重障害者）が、自主的に運営する団体として1999年1月に発足し、2001年にはNPO法人格を取得しました。

「盲ろう者」というのは、ヘレン・ケラーに代表されるように、目と耳に同時に障害を併せ持つ人たちの総称です。

和太鼓クラブは、2002年から部員4名でスタートしましたが、現在の部員は10名になり、2002年には設立3周年記念イベント（クレオ大阪中央大ホールにて、観客約800名）において、「すまいる和太鼓演奏」を初披露して以来、2004年の設立5周年記念イベント（クレオ大阪中央大ホールにて、観客約800名）、「第6回 日本太鼓全国障害者大会」へ初参加したり、「大阪府障害者芸術・文化フェスタ2006」「天王寺区民まつり」など、あちこち和太鼓演奏を披露しています。

僕達盲ろう者は、上手く出来なくて途中でやめなくなったり、泣いた事もありましたが、僕達盲ろう者は、目が見えなくても耳は聞こえなくても、やれば出来るのだと言う事を皆さんの前で、これからもどんどん発表し、社会に盲ろう者の存在をアピールして、太鼓をはじめとする様々な活動にチャレンジすることにより、盲ろう者の自立へ一歩近づきたいと思っています。

代表者 中本 謙次

門川紳一郎 栗本 養二 山崎 初江 藤高 尚美 百地由紀子 西尾 網巳
吉元智也子 石塚祐一郎 三輪 隆子 岡村 省次



1999年6月、現在の村上代表により結成したグループで、障害を持っている人たちを対象に、太鼓を通して障害のある人たち及び地域の人たちとの交流を目的にしております。

結成当初、演奏ができるだろうかと心配しましたが、太鼓仲間の理解と応援もあり、月4回の練習にみんな楽しく一生懸命に取り組み、中日新聞の中日ボランティア賞を受賞できました。静岡市内の行事や施設等の夏祭りには毎年参加し演奏活動を行っています。

知的障害者・ダウン症・自閉症・身体に障害のある7歳の児童から60歳までのメンバーが練習にはげんでいます。

太鼓の演奏活動をすることにより、障害を持つ人たちと持たない人たちが交流でき、少しずつではありますが地域の人たちの理解を得てきています。

障害のある人たちと一緒に楽しみ、太鼓を通して共に社会参加の場作りをしています。どうぞ、よろしくお願いします。

代表者 村上 潤子

永田 優 岩切 千穂 勝又 千智 宮原 拓野 前田 進伍 増田 晴人
増田 秀美 遠藤しょうご 遠藤 真理 宮崎しんいち 永野 淳也



私たち、「鼓友 夢光組」は、2003年に、富山県立となみ総合支援学校和太鼓クラブの卒業生とその父母で結成されました。その後も少しずつメンバーも増え、どんどんにぎやかになってきました。そして、現在はとなみ総合支援学校や地元の小学校を利用して毎月3回練習しており、年間を通して地域の祭りやイベントなどで演奏しています。特に特別養護老人ホームでは、たくさんの方から「元気をもらった。」とか「太鼓の音が心に響いた。」という言葉いただきました。また、上の写真の「かっぱまつり」では、紙皿で作ったおさらをかぶり、カッパになって太鼓を叩いて盛り上げました。

この全国大会には、2006年の郡山市での大会から連続して参加しています。昨年まではずっと「来楽^{きらく}」という曲を演奏してきました。でも、今年は新しい「五彩の響き」という曲を演奏します。今日の発表に向けて一年半かけて少しずつ練習を続けて来ました。なかなか覚えられなかったり、みんなの息が合わなかったりしてとても難しいのですが、何とか皆さんにご披露できるようになりました。まだまだ練習不足ですが、聞いてください。そして、来年の大会ではもっと上手になって発表したいです。

代表者 木下千恵子

木下かおり	法嶋 健太	清水明日美	清水 聡子	秋本 達也	秋本 秋美
池田 洋子	池田 林平	池田 政彦	富田 美穂	安達 謙二	安達 ゆみ
長谷川京子	長谷川敏郎	安達かおり	北 優梨恵	北 朱美	高崎 靖子
高崎真貴子	河原 雅康	河原史永子	奥野千栄子	奥野 康博	澤村 孝子
澤村 優花	増岡 涼	増岡 靖子	吉岡 奨平	吉岡 浩美	吉岡 政博
池田 優太	池田 好子	高橋 大康	高橋 輝子	加藤 翔太	加藤 博子
瀬川 智子	白江 俊介	白江 良子			



諏訪どん どん 太鼓は、今年で結成14年目になります。諏訪養護学校中学部在学中に太鼓を学び、地域のお祭りでの発表や、地域の学校と交流をしました。とても楽しそうに太鼓を打つ子。音の響きを感じ楽しむ子。そんな姿を見て、太鼓を続けてやりたいと思いました。当時の担当の先生方と親で、高等部に進学と同時に太鼓サークルを立ち上げました。新しいメンバーも加わり、支えてくださる先生方と親も一緒に、諏訪聾太鼓の赤羽さんにご指導いただき、月2回休日に練習しています。昨年は、県障害者親睦交流太鼓発表会、岡谷市ふれあい祭り、日本太鼓全国障害者大会で演奏する事が出来ました。これからも、皆で楽しく太鼓を打って行きたいと思います。

代表者 折井 淳子

小口 裕 小口 登代 熊谷 和磨 熊谷 玲子 松澤 采芽 松澤 充江
畑中 信人 畑中 恵 小口 直輝 小口 節子 高橋 亜矢 折井 政智
平林さとみ 和田 美枝 赤羽 昭二



私達チャレンジチームは平成10年に産声をあげ今年で19年目となります。初めは少ない人数から始まり、今では30人とふくれあがりました。入門した子供達が小学生となり、中学生となり、又社会人となりそれぞれがんばっています。チャレンジチームもやっと軌道にのったかな、と思います。手さぐりで始めたチャレンジも一曲一曲とおぼえて、今6曲目になりました。スタッフが覚えやすいような曲をつくり、皆でがんばっています。メンバーの一人は、太鼓貸してと言って、親と一緒に一人で太鼓演奏に行くまでに成長してくれました。これからも多くの友達をつくり楽しい太鼓をたたいて何にでもチャレンジしていきます。皆様よろしくお願ひします。

代表者 和田 光則

池久保 葵	池久保美紀	増田 芳宏	増田 里美	増田 和馬	増田 芳子
岩堀 巧誠	岩堀 純子	酒井 勝則	酒井 光枝	園田 康貴	園田 幸乃
立石 友子	立石 久	立石 節子	山内 大佑	山内 佐敏	山内 恵子
山河 亮子	山河 勇治	横山 継哉	横山佐和子	松本 秀男	松本 正人
小林 彩桂	小林 鈴代	森本 絵里	森本 りく	岡崎真知子	岡崎真理子
萩原 学	萩原とも子	萩原 勇	斉藤 悠希	斉藤 寿見	斉藤 香織
江塚 渡	江塚 和由	鷺坂 裕紀	鷺坂 昌史	鷺坂 通江	原田慎太郎
塚田 利恵	武田ひろ美	小玉恵美子			



「ろうあ者でも頑張れば太鼓が打てるはず！！」そんな思いで昭和62年7月、耳の聞こえない仲間が集まりました。日本太鼓の勇壮な響きを何とか自分たちで表現したいと、磐座太鼓保存会の指導を受け、練習が始まりました。

太鼓は叩けば音は出ますが、太鼓の演奏となると全員が同じテンポで叩く必要があります。それまで音楽の世界を知らなかった私たちには、この「テンポ」を掴むのが大変な苦勞でした。

一つの太鼓を皆で囲んで叩いてみたり、メトロノームを真ん中に置いてそれに合わせて叩いてみたりしましたが、なかなかうまくいきません。

一列に並んで「1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4・・・」と歩調を合わせて歩く事によって、ようやく「テンポ」を理解する事ができました。

太鼓の練習を始めて3年、さまざまな工夫をして、やっとの事で音楽の基本を理解する事ができた訳です。

全員がこのような努力をし、一人一人がしっかり“音”を掴む事ができたからこそ、今こうして太鼓の“演奏”ができるのだと思います。

活動を始めてもう30年になりますが、今考えても、最初の3年間は決して無駄ではなかったと思っています。

これからもこの基本を大切に、体の続く限り、楽しんで太鼓の活動を続けたいと思います。

代表者 石川 康文

加地 保則 村上 章夫 勇 留美



私達の母体は知的に障害のある人たちの自立を目的とした生涯学習の余暇支援の一環で行っている「にこにこ青年講座」のクラブ活動として、平成14年8月に発足しました。

当初は上手になる事が目的でなく、余暇の居場所づくりと体力の保持、太鼓を叩く事によって考える力や、脳の活性化、心の癒しを目的としての「音楽療法」として始めました。

セッションとしての練習を重ねる事によって、結果として上手に打てるようになる事で、自分に自信が付き普段の生活の中で役立つ事を目的としています。

しかし、練習だけでは自分の技術の向上が確認できないという意見が出てきましたので地域や障害者団体のイベントや県の芸術祭、チャリティー等に年に5回位の発表を行っています。

又、今年は地域のお祭りでの舞台演奏の依頼がありました。

この事は私達の活動が地域の中で根付いて来て、これからの活動の励みになります。

今後も、その評価によって自分自身に自信を持ち、障害に負けない充実した生活が送れば良いと思っています。

代表者 芝 安司

芝 晴美 川本 久子 川本浩太郎 小林眞里子 小林 秀夫 若味 香苗
若味 理絵 若味 一秀 田中 才洋 田中まり子



なごみ太鼓喜楽は、静岡県伊豆市の障害をもった仲間とその家族、師匠含め7名で現在活動을続けております。

全国大会当初は、周りの演奏の素晴らしさに圧倒され、わたしたちのような演奏で大丈夫かと心配でしたが、自分たち自身の練習の成果と大勢の方々に刺激をいただけたと考え、これまで続けて出場し、今回で5回目となりました。

今年は、地元静岡県での開催とあって、たくさんの仲間が会場に応援に来てくれているそうで、本当にありがたく思っております。

皆さんの応援に応えられるように、いつも通り精一杯演奏して、会場の人自分たちも皆気持ちのいい、なごみのある演奏にしたいと思っています。

代表者 田足井みさ子

堀江 利彰 森野 敦子 森野 和仁 城所 芳子 田足井順基 木村衣久美



1983年、日本チャリティー協会の方から、和太鼓を演奏してみないかと、社団法人東京都聴覚障害者連盟に、話が持ち込まれたことをきっかけに「社団法人東京都聴覚障害者連盟文化部/東京ろう者和太鼓倶楽部」が発足。

1984年、プロ団体大江戸助六太鼓に入門。

1984年8月、聴覚障害者の組として、耳が聞こえなくても身体で響きを感じて、「太鼓は心で聴いて心で打て」と宗家より、大江戸助六流「鼓心会」と名を頂く。

入門して以来、メンバー5～8名が太鼓稽古をして舞台上で発表できるまでに育つ。

2005年3月、聴覚障害者の組「鼓心会」解散。

2008年4月、「鼓友会」に改名。

「大江戸助六太鼓流」の太鼓を打ち続けたいという心構えに、宗家小林正道氏が再度、愛の（ムチ）を打つ事になる。

少数の太鼓に対する思い入れを一つの心にする為に「鼓友会」として再出発。

2013年で結成30周年目。30年を機に新たに、ろう者による音楽活動の啓蒙を中心に、多くの人達へろう者の太鼓演奏をみていただくこと尚且つ交流会を中心に活動している。現在は、メンバーの減少によりままならない事もあるが宗家より指示頂いた伝統打法を大切に今後とも伝え続けて行きたいと思う所存である。

代表者 加藤智差子
 村上 章夫



平成3年11月10日、豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を叩いたのがきっかけで、正式な発足は平成4年5月になります。

平成7年3月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」から「鼓響」と改称し、現在に至っております。

「鼓響」とは音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味でつけました。

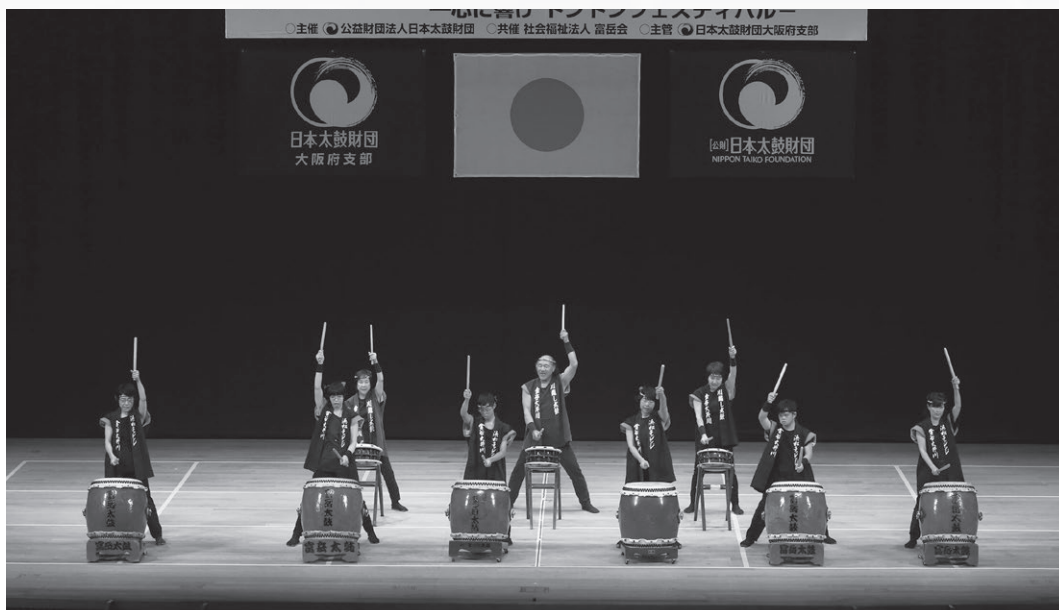
響きを体で感じ演奏するという非常に限られた音楽表現ですが、聞こえないから出来ないのではなく、聞こえなくても出来るという事を知って頂きたいのです。

練習は健聴者の方々の数倍、数十倍もの時間がかかります。

集中力と体力の勝負ですが、一つの事をやり遂げたいその思いと、日本の伝統芸能である和太鼓を一人でも多くの人に楽しんでもらえるように、これからも練習に励んでいきます。

代表者 宮田千恵子

坂本 善美 本出 典子 木村 英治 藤原 幹男 川本 進 吉山 誠
 坂本 豊子 川本 千春



私たち、浜松チャレンジチームは、平成21年5月に障がいをもつ子とその親で結成をしました。全国大会への参加は、今年で6回目となります。

金谷大井川川越し太鼓の和田先生をはじめ、小玉先生と塚田先生に、月1～2回、浜松までお越しいただき、公民館を借りて練習をしています。

全員で12名と少人数ではありますが、楽しんで練習をしています。

地元で行われているコンサートや金谷大井川川越し太鼓の皆さまとチャリティコンサートに参加させていただき、楽しく元気に演奏をしています。今年の春は、金谷で行われたお茶まつりにも参加し、太鼓を叩かせていただきました。

今日も一生懸命、演奏したいと思います。

よろしくお願いいたします。

代表者 斎藤 寿見

斎藤 悠希	斎藤 香織	横田 貴子	横田 良子	横田 隆一	横田志津子
三原 京子	三原まゆみ	松浦 光	松浦真由美	佐藤 佑紀	佐藤千佳代
和田 光則	小玉恵美子	塚田 利恵			



和太鼓葉の木組は、飯田養護学校在学中から「太鼓が大好き」という仲間達が集まって立ち上げ、今年で11年目を迎えます。現在30名以上のメンバーで、毎月第2、第4の日曜日を定例の練習日として活動しています。大好きな太鼓に向かうと心やからだをリフレッシュさせることができ、また仲間との関わりの中でたくさんのパワーをもらい、次の日から頑張ろうという気持ちになります。昨年初めて全国大会に出場する事ができ、大きな刺激と感動を受けました。来年は第3回公演を予定しており、新たな目標に向けてメンバー一同頑張っています。心を一つにして、花の木組のぶち合わせ太鼓を表現したいと思っています。

代表者 今村きよみ

金田 昌幸	伊藤 隆昌	金田 竜彦	梶田 知良	斉藤 亜耶	木下 知貴
片桐 美彦	今村 玲南	小澤 直季	小澤由美子	牧島 育子	赤羽目紘也
北野 元晴	平 摩耶	堀尾 宏	新井美保子	三浦 桂子	水野 静江
熊崎 武志	齊藤 れい	大蔵 智子	宮下 翔一	栗木 翔	山岸 晃代
小平 将貴					



静岡県立静岡北特別支援学校「北龍太鼓」です。北龍太鼓は、平成5年に同好会としてスタートし、平成9年から部活動として活動しています。龍のように勇ましい音を空に響かせよう、という思いを込めて、「北龍太鼓」と名付けられました。毎年1月末に行われる校内学習発表会の「静北祭（せいほくさい）」では、1年間の練習の成果を披露します。また、福祉施設のイベントや市内で行われる音楽会等に参加したり、校内でミニ・コンサートを開いたりしています。今年は、4月に新入部員を迎え、1年生5名、2年生4名、3年生5名の合わせて14名の部員で、毎週火・金曜日に30分程度活動しています。「皆さんの心に届く演奏」を目指して、皆で「音を合わせよう」「心を合わせよう」と練習に励んでいます。

代表者 鈴木 徹

東小藺竜河	坂本 聖也	深沢 優吾	森 駿太	市川 冬馬	谷口 宙
浮島 夏草	篠崎 勇太	高橋 真帆	布上 智子	大畑 智里	高山 尚子
沼本 晃子	仲田 歩美	小泉 和世			

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年 7月25日（日）

場所：静岡県コンベンション・アートセンター・グランシップ（静岡県静岡市）

出演団体：13団体 観客数：1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年 6月17日（土） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出演団体：14団体 観客数：1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 1月20日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出演団体：19団体 観客数：1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 9月22日（日） 場所：恵那文化センター（岐阜県恵那市）

出演団体：17団体 観客数：1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年 9月 6日（土） 場所：青山劇場（東京都渋谷区）

出演団体：18団体 観客数：1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月 3日（土） 場所：諏訪市文化センター（長野県諏訪市）

出演団体：21団体 観客数：1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日（日） 場所：ガレリアかめおか（京都府亀岡市）

出演団体：22団体 観客数：1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年 9月10日（日） 場所：郡山市民文化センター（福島県郡山市）

出演団体：19団体 観客数：2,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月 7日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）

出演団体：25団体 観客数：1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月 5日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）

出演団体：26団体 観客数：1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
出演団体：24団体 観客数：800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日（日） 場所：フィットネスハウス・アリーナ（千葉県成田市）
出演団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日（日） 場所：郷の音ホール（兵庫県三田市）
出演団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出演団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）
出演団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日（日） 場所：大東市立総合文化センター（大阪府大東市）
出演団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
出演団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日（日） 場所：大垣市民会館（岐阜県大垣市）
出演団体：27団体 観客数：800名

2017年度の事業活動予定

■第21回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2017年5月16日(火)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：認定NPO法人シャイン・オン・キッズ
出演団体：6団体

■第2回大学太鼓フェスティバル

期 日：2017年8月31日(木)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：14団体

■日本太鼓財団創立20周年記念事業 第21回日本太鼓全国フェスティバル

期 日：2017年9月21日(木)
場 所：国立劇場(東京都千代田区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：15団体

■第32回国民文化祭・なら2017・第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会「太鼓の祭典」

期 日：2017年10月15日(日)
場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
主 催：文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、
第32回国民文化祭大和郡山市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団奈良県支部、奈良県太鼓連盟
出演団体：47団体

■日本太鼓財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバル「浅草太鼓祭」

期 日：2017年11月3日(金・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
出演団体：20団体程度

■第14回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2017年11月19日(日)
場 所：津幡町文化会館「シグナス」(石川県津幡町)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、
一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：31団体

■第20回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2018年3月25日(日)
場 所：金沢歌劇座(石川県金沢市)
主 管：日本太鼓財団石川県支部、公益社団法人石川県太鼓連盟
出場団体：50団体程度

■日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会 & 資格認定事業)

日本太鼓全国講習会

第59回日本太鼓全国講習会	2017年6月24日(土)・25日(日)	福島県郡山市
第60回日本太鼓全国講習会	2017年9月16日(土)・17日(日)	長野県箕輪町
第61回日本太鼓全国講習会	2018年2月17日(土)・18日(日)	宮崎県新富町

公益財団法人 日本太鼓財団概要

＜設 立 日＞ 1997 年 11 月 11 日

＜公益財団移行日＞ 2012 年 4 月 1 日

＜資 産＞ 基本財産 3 億円

＜加盟支部数＞ 45 支部（41 都道府県）

＜加盟団体数＞ 約 700 団体

＜会 員 総 数＞ 約 20,000 人

＜役 員＞	会 長	松本 英昭	（一社）地方公務員共済組合協議会会長
	副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
	副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	理 事 長	塩見 和子	（公財）日本音楽財団会長
	常務理事	大澤 和彦	常 勤
	理 事	石井 幹子	（株）石井幹子デザイン事務所代表取締役
	理 事	大宅 映子	評論家
	理 事	島津 久永	（公財）山階鳥類研究所顧問
	理 事	中西 由郎	（公財）日本ゲートボール連合専務理事
	理 事	山内 剛	（社福）富岳会理事長
＜評 議 員＞	評 議 員	大竹 英雄	（公財）日本棋院顧問（名誉碁聖）
	評 議 員	岡田 知之	（公社）日本吹奏楽指導者協会会長
	評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	北村 汎	元駐英大使
	評 議 員	佐藤 淳子	（一財）ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高島 肇久	（株）海外通信・放送・郵便事業支援機構 取締役会長
	評 議 員	濱田麻記子	（株）DHC テレビジョン代表取締役社長
	評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部長
	評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部長
	評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家
＜監 事＞	監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
	監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

（敬称略）

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関することだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。

 **0120-331-531**

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索 



〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
Akasaka1-2-2, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
Tel (03) 6229-5577 Fax (03) 6229-5580
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp